

開催日時：平成 27 年 9 月 26 日(土) 13:30~17:15

開催場所：日本家政学会会議室

出席者：牛腸会長、香西筆頭副会長、島崎副会長、田島副会長、赤塚、今井、岡部、小川、久保、杉山、戸田、増井各理事、石井監事、平田監事

欠席者：東、天野、河田、菅原、長山、渡辺各理事
議題

【議案】

1. 入会申し込み者について

香西副会長より、平成 27 年 8 月 22 日~9 月 25 日の入会申込者 29 名について説明があり、承認した。

2. 平成 27 年度第 67 回大会について

田島副会長より、約 125 万円の黒字であったことが報告された。島崎副会長より、会議費(交通費)が未計上のため修正の可能性があることが説明された。

3. 平成 28 年度代議員総会・第 68 回大会について

田島副会長より、ポスターを 2 日間掲示しポスターセッションを 2 日目に実施すること、発表件数は口頭発表が最大 270 件、ポスター発表は最大 140 件、口頭の半数以下に調整することが提案され、承認した。

予算については、田島副会長より、参加費値上げ、非会員登録料の無料化が確認された。島崎副会長より、第 68 回大会予算から予算案の大枠を本部より提示する方式とし、役員連絡会および大会実行委員会による修正・確認を行なった予算案が説明され、承認した。

さらに、田島副会長より、学会誌に掲載する予告記事について説明された。

「大学院生活工学共同専攻の発足一奈良女とお茶女のコラボレーション(仮題)」については、主催：日本家政学会(本部企画)、テーマ：家政学と工学のコラボレーションとし、奈良女とお茶女のコラボレーションについても説明することを承認した。

4. 平成 28 年度被服学関係部会合同夏季セミナーの開催について

島崎副会長より、8 月 4 日にセミナー準備委員会を開催したことが報告された。平成 30 年度については、全部会に拡大し実施する方向で、第 68 回大会の全体部会長会で決定することが提案され、承認した。

5. 規程等集の改正について

香西副会長より、就業規則に自転車通勤および維持費について記載することが提案され、承認した。

今井理事より、編集委員会規程について提案があり、改廃の手続き方法については従来通り理事会決議とし、学会誌論文投稿規程における投稿資格、倫理審査委員会等での審査承認の論文中への明記、掲載・別刷り費用について承認した。また、学会誌投稿論文の倫理的観点に基づく審査に関する内規および申し合わせの改正手続きの改正案について、承認した。

6. 企画・広報委員会

1) 平成 27 年度第 2 期活動助成について

3 支部、6 部会からの申請内容が報告され承認した。

2) 部会長の交代について

家政学原論部会の部会長交代が提案され、承認した。

7. 学会賞選考委員会

田島副会長より、選考規程、申し合わせについて検討した結果、本年度は変更しないことが報告された。

8. その他

1) 編集に関する事務職員について

事務職員 1 名が 8 月末で退職するため、候補者 1 名を面接し採用したことが報告され、承認した。

2) 協賛・後援名義使用依頼について

6 月 15 日~9 月 7 日に、協賛 11 件、後援 4 件の依頼を受け了承したことが説明され、承認した。

3) 家政教育部会 家族生活アドバイザーの資格化

牛腸会長より、特別委員会を立ち上げ、学会認定資格とし社会貢献および事業の一環として実施することの可否を検討することが提案され、承認した。

【報告】

1. 退会申出者及び会員現況報告

香西副会長より報告された。

2. 支部関係

各支部長より、活動実績および予定が報告された。

3. ホームページ委員会

戸田委員長より、会員アドレス変更の適宜実施および専門別発信の検討が報告された。

4. 国際交流委員会

赤塚委員長より、2015ARAHE 大会において 2017ARAHE 大会の日本開催が正式決定したこと、9 月 12 日に実行委員会を発足したことが報告された。

5. 編集委員会

今井委員長より、掲載記事の分類・定義や原稿料、執筆要項等の規程変更について報告された。戸田副委員長より、シリーズ原稿の電子図書化を今年度中に実施予定であることが報告された。

6. 東日本大震災生活研究プロジェクト

小川理事より、10 月 12 日に石巻専修大学において報告会を実施予定であることが報告された。

7. その他

・久保理事より、9 月 27 日に生活やものづくりの学びネットワークの総会・シンポジウムが開催予定であることが報告された。

・牛腸会長より、生活科学系コンソーシアムについて、12 月 20 日にお茶の水女子大学においてシンポジウム・交流会、3 月 24 日に東京学芸大学において生活科学系博士課程論文発表会・交流会を開催予定であることが報告された。

以上